

SUMCO株主通信

第21期 期末

2019年1月1日～2019年12月31日



半導体シリコンウェーハ

SUMCO

▶ INDEX

- 01 ごあいさつ
連結業績ハイライト
- 03 特集:第5世代通信と5Gスマートフォン
- 05 市場環境と業績見通し
- 06 会社情報・株式情報・株主メモ

▶ ごあいさつ



代表取締役 会長兼CEO
橋本 眞幸

代表取締役 副会長 CFO
瀧井 道治

株主の皆様には日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2019年の半導体シリコンウェーハ市場は、メモリー需要が弱含んだこともあり、伸び悩みましたが、第5世代の高速通信網(5G)やデータセンターの需要が喚起されたことにより、当社の強みとする300mm最先端ロジックウェーハの需要は年央から回復しました。

このような環境のもと、当社は「SUMCOビジョン」の方針に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、価格適正化による更なる損益の改善にも努めてまいりました。

本年の半導体用シリコンウェーハ市場は、5G通信による最先端スマートフォン需要の成長、カメラの多眼化・車載用CMOSイメージセンサー需要の拡大、データセンター市場向け投資の再開期待はあるものの、新型肺炎の拡散・地政学リスクによる世界経済成長への影響が懸念されます。このような市場環境ですが、当社グループでは、引き続き需要増加が見込まれる最先端製品の技術開発推進による差別化を図るとともに、需要にあわせた継続的な設備増強を進めることにより、顧客要求に 대응してまいります。

2019年12月期の期末配当につきましては、当期における利益水準、将来の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、1株当たり10円、通期では35円、配当性向は31%と決定いたしました。また10%相当の自己株式の取得を実施することにより、総還元性向を41%とすることとしましたのでご報告します。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 会長兼CEO 橋本 眞幸

株主の皆様には、平素より当社へのご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

2019年は、年初から始まった世界的な半導体需要の鈍化に加え、国際貿易摩擦も加わり、ウェーハ需要は2Q以降大きく減退しました。また、メモリー需要は調整したものの年央から最先端ロジックの需要が回復するなど、変動の大きな一年でした。このような環境のなか、当社業績は、1Qは前年同期並の売上を確保できたものの、以降、四半期毎に減少傾向となりました。

この結果、当期の業績は、売上高減少による収益後退に加え、300mm最先端高精度シリコンウェーハの増産投資による減価償却費の増加もあり、前年対比では減収、減益となりましたが、当期においても営業利益506億円、親会社株主に帰属する当期純利益331億円を計上し、営業利益率16.9%、ROE11.3%を確保することができました。

この結果、財務体質は強化され、自己資本比率は対前年期末3.8%改善した52.2%となり、中期的な目標としていた50%以上の自己資本比率、DE比0.5以下を達成することができました。

今後も、需要の増加が見込まれる最先端ウェーハの技術開発を進めるとともに、来る需要期に備え体質強化を図るべく、引き続き増加する300mm最先端高精度シリコンウェーハ需要への生産体制を着実に整備するとともに、原単位低減、生産性向上等のコストダウンを推進し、収益の改善に努めてまいります。

株主の皆様には、今後も引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役 副会長 CFO 瀧井 道治

SUMCO

第21期 期末 株主通信

SUMCO VISION

1 技術で世界一の会社

2 景気下降局面でも赤字にならない会社

3 従業員が生き生きとした利益マインドの高い会社

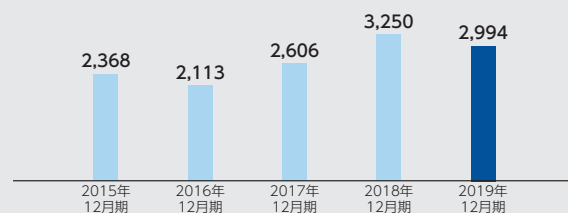
4 海外市場に強い会社

連結業績 ハイライト

(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。

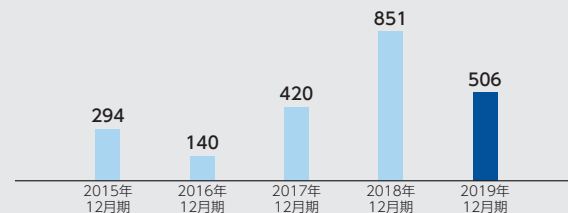
売上高

(億円)



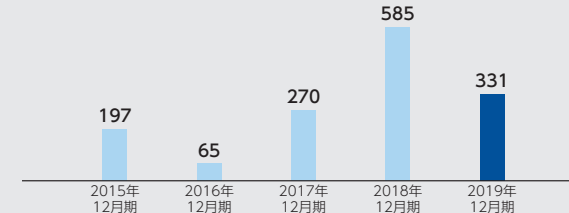
営業利益

(億円)



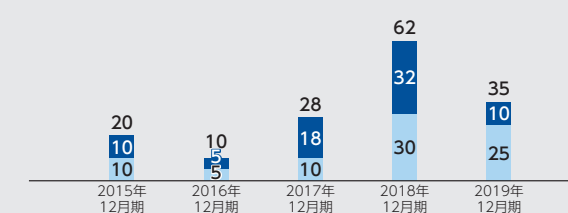
親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



1株当たり配当金

■ 中間 ■ 期末 (円/株)



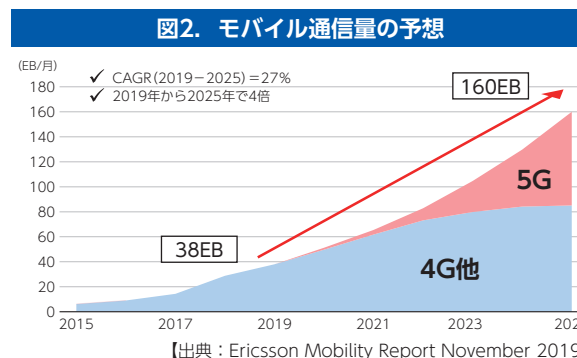
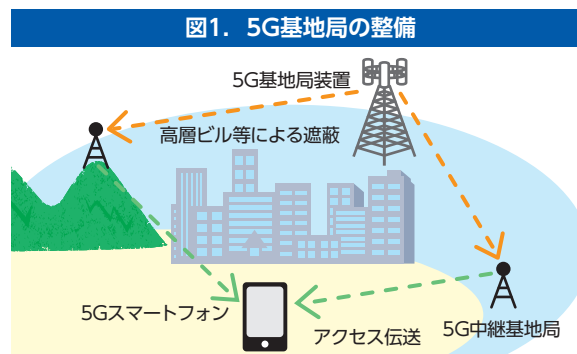
5Gの特徴

5Gの特徴は

- ①超高速・大容量
- ②超大量端末接続
- ③超低遅延で

2020年代のIoT社会の進展を支える通信インフラです

5Gは電波の直進性が強く、障害物があると到達距離が短くなり、多数の基地局が必要です。その為、設置が簡単な小型の中継基地局を使う方式が検討されています(図1)



2020年は「5Gスマートフォン」の元年

モバイル通信量は急速に増加すると予想されますが(図2)、その大半を占めるのが、2019年後半から発売され、2020年以降に本格的に普及する5Gスマートフォンです

5Gスマートフォンの特徴

①超高速・大容量通信の実現

- ・2時間映画が数秒でダウンロード(4Gでは約4分)
- ・ストリーミング再生が快適に楽しめます
- ・4K、8Kでの高解像度の配信を利用できます

②超大量端末接続による通信混雑の緩和

同時大量接続で、同一エリア内の混雑が解消され、接続切断を回避できます

③超低遅延によるサービスの充実

高解像度のオンラインゲームなどが、遅延なく快適に楽しめます

5Gスマートフォンの需要予想

5Gスマートフォンの台数は、現時点では2020年に2億台強、2023年には約8億台まで増加し、スマートフォン全体の約5割を占めると予想しています(図3)

1台当たりのウェーハ面積は増加

5Gスマートフォンは、従来品と比べて

- ①メモリー容量が増加(NAND、DRAMの需要増)
- ②超高速通信に対応(ロジックの需要増)
- ③カメラ搭載数が増加(CISの需要増)により、1台当たりのシリコンウェーハの使用面積が増加すると予想しています

スマートフォン向けの300mmウェーハ需要予想

スマートフォンの高機能化が進み、シリコンウェーハの消費量が多い5Gスマートフォンが普及することで、スマートフォン向けシリコンウェーハ市場は、着実に成長すると予想しています(図4)

図3. 5Gスマートフォンの台数需要予想

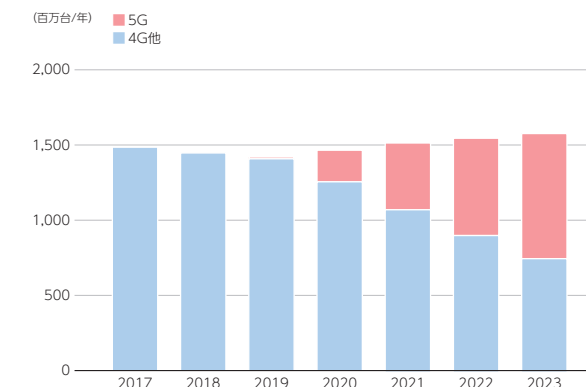
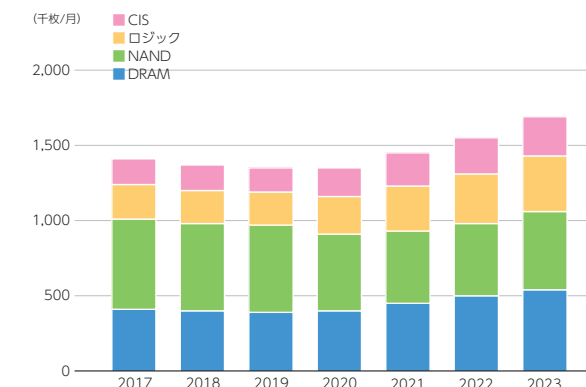


図4. スマートフォン向けの300mmウェーハ市場予想



市場環境と業績見通し

2019年度 (1-12月) 市場環境

2019年度の300mmシリコンウェーハ市場は、メモリー向け需要については、顧客の在庫調整継続により弱含みで推移したものの、ロジック向けは、下期より5G・データセンター向け等の需要を中心に回復しました。
また、200mm以下の小口径ウェーハは、世界経済成長の鈍化の影響を受け、全般的に需要は停滞しました。

2019年度 (1-12月) 事業成績

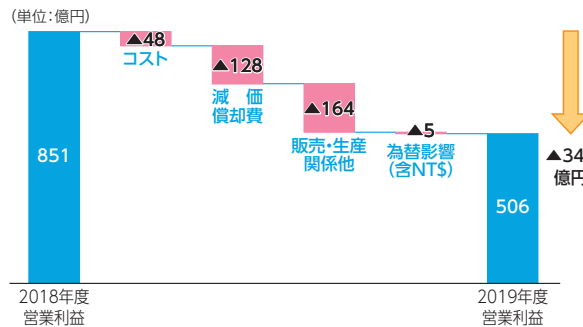
上記のような環境のもと、当社グループでは、「SUMCOビジョン」の方針に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、生産性の向上、および価格適正化による損益の改善に努めてまいりました。
また、300mm最先端高精度シリコンウェーハの増産投資を実施いたしました。
この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高2,994億円、営業利益506億円、経常利益483億円となりました。また、特別利益として退職給付制度改定益9億円計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は331億円となりました。

今後の見通し 2020年度 1Q(1-3月)

2020年度1Q(1-3月)の半導体用シリコンウェーハ市場は、300mmの先端ロジック向けは、5G・データセンター等を中心とした需要回復に支えられ、堅調に推移するものの、メモリー向けは引き続き顧客の在庫調整が継続すると想定しております。また、200mm以下の小口径ウェーハは、2019年度4Qを底に、回復基調になっております。
このような市場環境のもと、2020年度1Qの業績見通しについては、為替レートを110円／ドルとし、下表の通り予想しています。

営業利益増減分析(2018年度→2019年度)

(単位:億円)			
	2018年度	2019年度	増減
売上高	3,250	2,994	▲256
営業利益	851	506	▲345
為替 (円／ドル)	110.5	109.4	▲1.1



2020年1Q(1-3月期)連結業績予想

項 目	2019年度4Q 実績(10-12月)	2020年度1Q 予想(1-3月)	増減
売上高	(億円) 709	710	+1
営業利益	(億円) 82	90	+8
経常利益	(億円) 71	80	+9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(億円) 50	55	+5
1株当たり四半期純利益	(円) 17.0	18.8	+1.8
為替レート	(円／ドル) 108.8	110.0	+1.2

注)業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

会社情報

会社概要(2019年12月末現在)

商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館 Tel : 03-5444-0808 https://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	138,718百万円
従業員数	連結8,142名 単体3,981名
IRお問い合わせ先	広報・IR室 : 03-5444-3915

取締役(2019年12月末現在)

代表取締役 会長兼CEO	橋 本 眞 幸
代表取締役 副会長	瀧 井 道 治
代表取締役 社長兼COO	降 屋 久
代表取締役 副社長	平 本 一 男
取締役(常勤監査等委員)	吉 川 博
取締役(監査等委員)	田 中 等 *
取締役(監査等委員)	三 富 正 博 *
取締役(監査等委員)	太 田 信一郎 *
取締役(監査等委員)	不 破 章 雄 *

* 社外取締役(独立役員)

株式情報

株式情報(2019年12月末現在)

発行可能株式総数	804,000,000株
発行済株式総数	293,285,539株
総株主数	85,010名

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	Tel : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主メモ



事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会議決権行使株主確定日 毎年12月31日 配当金支払株主確定日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ (https://www.sumcosi.com/)に掲載いたします。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、日本経済 新聞に掲載して公告いたします。
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部(証券コード:3436)

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウェーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <https://www.sumcosi.com/>

■ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

- 証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記電話照会先までご連絡ください。

■ 単元未満株式の買取請求について

単元(100株)未満株式の買取請求につきましては、株主さま口座のある証券会社にお申し出ください。
(証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。)

For All Innovation

半導体の進化が世の中を変える

時代を変え、風景を変え、あなたと私のこれからを変える

次の100年、半導体でどう変わるだろうか

シリコンウェーハは半導体テクノロジーの根源

半導体の進化が未来を創る

SUMCO

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<https://www.sumcosi.com/>

見直しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点で当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定（当社の主観的判断に基づくものを含みます。）に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
植物油インキを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

